

2019年11月12日
株式会社毎日放送

各 位

当社客員が「第33回 電波技術協会賞」受賞

当社元取締役の小川輝範氏が、当社在籍中に「地上テレビジョン放送の円滑なデジタル移行とFM補完放送の実現に貢献」したことが高く評価され「第33回電波技術協会賞」を受賞いたしました。

この賞は、(一財)電波技術協会が電波技術の振興発展に多大な功績を残された方々を表彰するもので、きょう午後4時30分より東京・港区のホテルメルパルク東京で贈呈式典が執り行われました。

本人の略歴と業績は下記の通りです。

記

氏 名	小川 輝範 (おがわ てるのり)		
生年月日	1954年10月29日生		
略 歴	1977年4月	株式会社毎日放送	入社
	2006年6月	同	技術局長
	2009年6月	同	技術管理局长
	2011年6月	同	取締役
	2015年6月	株式会社放送映画製作所	代表取締役専務取締役
	2016年6月	同	代表取締役社長
	2018年6月	株式会社毎日放送	客員

1977年(昭和52年)に株式会社毎日放送に入社以来、制作技術や送信・送出業務に携わり、取締役等の要職を歴任するとともに、日本民間放送連盟「技術委員会」の委員として民放共通の技術課題に取り組んだ。近畿広域の地デジ化にあたっては「近畿広域地上デジタル放送推進協議会」の主任幹事を務め、豊富な知見と幅広い見識を活かし、周波数がひっ迫する厳しい条件下のデジタル移行を成し遂げ、民放事業の発展に貢献した。

また、総務省「放送ネットワークの強靱化に関する検討会」の構成員として「ファーストインフォーマーとしてのラジオの強靱化」を推進し、AMラジオ放送の難聴対策や災害対策にFM波を活用する「FM補完放送」実現の道筋をつけた。

以上